

		2013年度 後期		リフレクションペーパー			
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	基礎造形Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	1・2年次後期		
必修・選択の別	選択必修科目（デザインコース） 選択科目（建築工学コース） 選択科目（建築コース）						
担当者	金子哲大						
授業の到達目標（シラバスから）	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の特性を活かして形を発想できる。（D3） ・様々な制約ときちんと向き合い制作できる。（A6） ・アイデアをスケッチに描き最後まで制作できる。（A7） 						
日程と内容	<p>第1回：0919導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、トレーニング課題1「新聞紙の構造体」</p> <p>第2回：0926トレーニング課題2「打倒山西」</p> <p>第3回：1003第1課題発表「ウェアラブルケンチュク」・エスキス1</p> <p>第4回：1010エスキス2</p> <p>第5回：1017中間発表（採点）</p> <p>第6回：1024エスキス3</p> <p>第7回：1031最終プレゼンテーション（採点）</p> <p>第8回：1107第2課題発表「椅子に座る私」</p> <p>第9回：1114エスキス1</p> <p>第10回：1121中間発表（採点）</p> <p>第11回：1128エスキス2</p> <p>第12回：1205エスキス3</p> <p>第13回：1212最終プレゼンテーション（採点）</p> <p>第14回：1219ポートフォリオ制作</p> <p>第15回：0116ポートフォリオ提出（採点）</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	30%		プレゼンテーション			
	課題 演習	70%		計		100%	
授業到達目標の達成度	ものを作るための基本的な作法ともいえる目標は達成できたと考えている。						
反省点	隔年開講による弊害であるが、教員1名に対して70名超の受講生はあまりにも多すぎた。そのため学生1人1人と向き合う時間が少なかったのが残念であった。						
来年度の計画	来年度は隔年ではなく開講できるため受講生は半減し、なんとか適正な数になることが期待される。授業内容は今年度を踏襲して密度のある演習を実施したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体評価8.8という望外な結果が出たことに驚きを隠せない。1年次の初歩的な演習であるため、全員が最後までやめずに演習へ出席出来る内容に留めたことことが幸いしたのかもしれない。受講生が多くて手が回らなかったという自覚があったが、楽しく出来たとのコメントが多数あったのでホッとしている。TAの活躍が大きかったのであろう。						
履修登録者数	76名	定期試験 受験者数	72名	合格者数	72名	合格率	100%